

(平成29年度) 第2回運営推進会議実施報告書

平成30年1月23日

事業所名	大田区立たまがわ高齢者在宅サービスセンター	サービスの種類	認知症対応型通所介護
電話番号	03 (5732) 1023		
開催日時	平成30年 1月 23日(火) 14:00 ~ 15:15		
開催場所	大田区下丸子4-23-1 たまがわ高齢者在宅サービスセンター1階相談室		
出席者 9人	(内訳)		
	利用者	2名	
	利用者家族	2名	
	地域の代表	民生委員	1名
	区・地域包括支援センター	1名	
	その他		
事業所職員	3名		

◆活動報告・活動計画

活動状況報告書(別紙添付)のとおり説明を行う。

◆意見交換

【家族】

・たまがわの施設をまだ、何も無い時に友達と一緒に見学させていただいた。

この上のシルバーピアの方とスーパーでお話しをする機会があって、どういう方が住んでいるのか？

【地域包括支援センター】

・65歳以上の方が対象で、都営と同じように募集があり、優先順位もある。この地区にはシルバーピアが2つあります。たまがわの上と、下丸子デイサービスの上です。

【事業所】

・土曜日に急な訪問者あり、(80歳・女性・軽度の認知症あり、自分でも物忘れが増えたと自覚ある) 普段は小規模多機能デイに通所している方で、行かない日は家にいても、悪い事ばかり考えてしまう、一日誰とも話さないで終わってしまう事もあり、ここにきて展示物を見たりすることが気晴らしになると。これから、こういう方が増えてくると感じた。

【家族】

・見守りキーホルダーは普段、家に置いてある。出掛ける時に使っています。主人も持っているけどあまり活用していない。2回目の更新をしたら、キーホルダーのマークが変わった。

【民生委員】

・見守りキーホルダー、必要と感じても、作りたくてもやぐち包括まで、遠い。

【地域包括支援センター】

・1人でも訪問致します。何かあってもいいように24時間対応となった。個人でも団体でも依頼があれば伺います。大田区報に載っています。

【家族】

・近所の方が具合が悪くなって救急車を呼んだが、鍵が閉まっていた大変だった。

【民生委員】

うちのそばでもあったが、隣の方との信頼関係で、たまたま、鍵を持っていたので、すぐに対応できたが、鍵の問題って難しい。今の世の中、恐れから。

※会議録作成にあたって

・報告書は1ページにわたっても構いませんので、文字は縮小しないでください。

【家族】

- ・外に出て、昔のように話しをする機会もなくなった。昔は井戸端会議で話しをすることがあった。
- ・昨年の話しの続き、床屋さんが閉まってしまったので、新しいところを探していったが、2回目に行った時には閉まっていた。近所の方の話だと、店主が店で亡くなっていたと。

【事業所】

- ・床屋さんも社会資源の一つで、地域の見守りが減ってしまった。シャッター商店街となりつつある。

【家族】

- ・立ち上がりが悪くなってきている。病気が病気だから、日課の散歩は続けている。足より先に体が前にいってしまう。椅子のない生活だから、立ち上がり時間に時間がかかるが、手を貸さない。これ以上酷くなったらどうするのかと考える。

【事業所・地域包括支援センター】

- ・手伝うのは簡単だけど、見守りするのも根気がいる。出来ることはやってもらわないと、自立支援に繋がらない。

【家族】

- ・預かってもらって、本当に助かっています。トイレ(ポータブル)も一人で行けるようになった。
- ・最初は大変だった。夜中も寝なくて…眠剤を服用しても効果なく。心臓が苦しくて、寝てはすぐ、起きての繰り返し。今は、1.5倍の心臓がたいぶ縮んだと。今、思うと、自分も寝ることができずに、自分も病んでいたんだと。今は週3回、デイサービスに行って、疲れるようで、良く寝てくれる。

音楽発表会で、母が歌っているのを見て驚いた。家では一切、歌う事もなく、政治の討論会等ニュースを見ていたから。家でも時々、歌うようになった。

- ・今まで、良かれとなんでもかんでもやってしまったが、自分でできることは自分でやらせないと出来なくなってしまうと初めて知った。倒れる前に、歩くのが大変と思って車椅子を購入した。

- ・車椅子は買うものなの？

【事業所】

- ・購入する方もいれば、レンタルもできます。

【家族】

- ・近所の90歳すぎのおばあさまが自宅の玄関で転倒(膝を打った)してから、外にまったく出なくなり心配したが、ヘルパーさんがきているので、大丈夫なんだというのは分かった。娘さまに声をかけるが、迷惑がるような態度があつて。

【事業所】

- ・地域の方について、気にかけてくれるのはありがたいです。

【家族】

- ・私も、近所の方に「お母さん、元気？」と声をかけられ、元気と答えることがあった。近所の人に知られたくない思いがあった。

- ・親が寝たきりになって、初めて、いきなり介護に直面した。今回のことで、もっと、若い世代の方にも伝えられる機会があればと感じました。